



音楽を愛し、音楽で夢を描く、自立した一人ひとりの女性から成り立った、プロフェッショナルオーケストラ「東京女子管弦楽団」。2022年6月10日に、一般社団法人東京女子管弦楽団として設立され、「女性がつまみパワーの提起」と「音楽家の社会的地位向上」を目指して、ついにその活動をスタートしました。当楽団は、演奏会主催や教育機会提供を通じて女性音楽家に優れた活躍の場を提供し、もって我が国音楽芸術の振興と発展を目指す様々な活動を展開してまいります。記念すべき第1回目の公演には、日本のみならず世界からの注目も集めている若手女性指揮者 喜古恵理香氏を迎え、チャイコフスキー、ベートーヴェンの珠玉の名曲を、当楽団のための新曲と併せてお送りします。楽団員オーディション選りすぐりのメンバーである輝く女性たちの、清冽かつ躍動感ある演奏にご期待下さい。

女性オーケストラ立ち上げの背景

クラシック、西洋音楽の歴史は1000年以上と深く、近代の女性解放運動の歴史と並走するように、音楽においても諸外国で多数の女性交響楽団が作られていたものの、その多くが世界大戦や紛争の戦禍により消失、あるいは活動停止に追い込まれています。

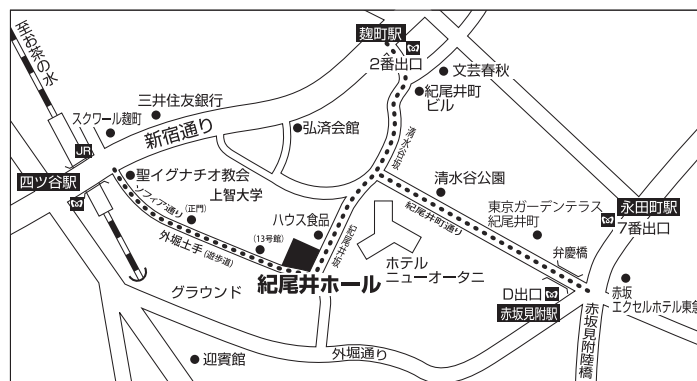
一方で、ベルリンフィル、ウィーンフィルといった、現存する世界的オーケストラなどでは、団員の大多数を男性が占めており、音楽大学の学生をはじめとする未来ある若手音楽従事者の7割が女性であることも踏まえ、未だ根強い男性社会が築かれている現状が窺えます。

また、日本では国家演奏家資格などプロの音楽家としての補償がなく、産休育休制度からも取り残されている現状があり、女性音楽家を取り巻く様々な問題があります。SDGsのターゲットにも設定されているジェンダー平等について、日本は主要先進国最下位であることも踏まえ、東京女子管弦楽団において、女性の持つパワーの提起、課題の克服を目指し、日本の女性音楽家の地位向上並びに、世界の女性に勇気を与えるための活動を行なっていきたいと考えています。

喜古 恵理香

東京音楽大学音楽学部作曲指揮専攻(指揮)及び同大学大学院指揮研究領域に学び、これまでに指揮を広上淳一、汐澤安彦、下野竜也、田代俊文、三河正典の各氏に師事。

在学中、井上道義指揮者講習会にて優秀者に選出され、同講習会のリレーコンサートに出演。2017年9月からNHK交響楽団よりパーヴォ・ヤルヴィ氏のアシスタントに任命され、2年間アシスタントコンダクターを務めた。2022年広島で行われた次世代指揮者コンクールにて第3位入賞、また聴衆賞、オーケストラ賞を合わせて受賞。最近では新国立劇場、二期会、藤原歌劇団、日生劇場にて各主催のオペラ公演に副指揮者として携わる他、京都市交響楽団、広島交響楽団など国内各地のオーケストラと共演し活躍の場を広げている。



紀尾井ホール 東京都千代田区紀尾井町6番5号

四ツ谷駅 麹町口 (JR線・丸ノ内線・南北線) 徒歩6分
 麹町駅2番出口 (有楽町線) 徒歩8分
 赤坂見附駅 D出口 (銀座線・丸ノ内線) 徒歩8分
 永田町駅7番出口 (半蔵門線・有楽町線) 徒歩8分

■ チケット販売サイト
 teket <https://teket.jp/5058/17334>

